

市が専決処分したコロナ対策

他市でのドライブスルーによるPCR検査



休業への保障をしっかりと！

新型コロナウイルス感染症対策基金を新たに創設に

基金の目的は、感染症予防・地域経済対策に要する経費に充てるためとし、積み立てる額は、一般会計で定める額、寄付金によるとしています。基金の規模や具体的な支出などは明らかになっていません。議会で明らかにすることが求められています。

国民健康保険条例改正

国保に加入する方が、新型コロナウイルスに感染した場合に、傷病手当金を支給できるようにするものです。但し雇用されている方が対象です。

詳細は「広報くさぎ7月号」に掲載予定

DV被害などで受け取れない方は
これからでも申請を

1人あたり、10万円が給付される「特定額給付金」は世帯主に振り込まれます。給付金はDV被害などの事情により世帯主と別居されている方にも迅速に届ける必要がありますが、本人に給付金が届かない場合があります。このような方はこれからでも適切な申請をすれば、世帯主と分離して給付され受け取ることもできます。

既に給付金の振込みが開始されていますが、総務省では、重複支給を認め、その後「加害者から返還を求める」対応も可能との見解を示しています。心当たりのある方は、これからでも市に相談をしてください。

理科大跡地の活用検討結果出る！

東京理科大の活用については、アイデア募集・パブリックコメント・議会の議論等を踏まえ、平成28年11月議会に案が出され改築が進められてきました。しかし、梅田市長に変わり、平成30年11月議会に見直し案が提出されました。中身は、休日夜間急患診療所や学童運営協議会・ファミサポの移転など良い面もありましたが、民間企業への貸しオフィスや企業経営の市民レストラン、専門学校の誘致などが立案されていて、かなり問題がありました。

施設ごとの
主な回答は

- ◆「インキュベーションセンター」
回答・利用ニーズが低く、現実的ではない。起業目的のある方がこの場に來るか疑問がある。
- ◆「市民レストラン」
回答・近隣に飲食店の大型施設がある。
利用料の減免など市の補助が必要である。
- ◆「専門学校」
回答・施設整備や通学バスに市の補助があれば、導入の可能性はある。

5月18日の全員協議会で、跡地活用

検討結果が報告されました。

企業利用ニーズが低い・現実的ではない・行政から施設使用料の減免などの補助が必要など、厳しい評価でした。

今後は、久喜市の公共施設のあり方を検討するアセットマネジメントと一緒に考えるとの報告です。

建物の今後の維持・改造にも、更地にするにも莫大な費用がかかります。理科大の意向を丸呑みし、譲渡を受けた市の責任は重大で市民の意向を踏まえた十分な議論が必要です。

※インキュベーション施設とは
起業や創業をするために活動する事業者を支援する施設を言います。



現在は、久喜市教育委員会の拠点となっている東京理科大学の跡地。物流倉庫が隣接する。

日本共産党久喜市議団・政務活動費 2019年度 収支報告

2019年度の政務活動費が確定しました。久喜市における政務活動費のチェックは、各会派の経理責任者が、適切な支出かどうか、領収書との整合性など相互にチェックした上、更に久喜市の内部監査、会計士の外部監査を経てホームページに公開されています。

2019年度 科目別の収支を報告します。

収入

年間交付額は、一人月額3万円で年間合計144万円

支出

科目名	金額	適用
調査研究費	136,032	タブレット通信費や資料代
研修費	264,842	研修会参加の会費・交通費
広報費	636,958	団で発行するニュースなど
広聴費	198,215	住民アンケートに係る費用
資料購入費	203,592	書籍や有料データベース
合計	1,439,639	

残高 361円 (久喜市に返還)

政務活動費の多くを占める「広報費」は、議員団ニュースの発行に伴う費用、中でも2019年度は、台風19号の被害を受け「緊急市民アンケート」実施に伴う報告の支出などが含まれています。

市民皆さんの願いを久喜市に反映させるため、今後も大切に活用させていただきます。